

令和元年度事業計画

一般財団法人 滋賀県動物保護管理協会

1 基本方針

近年、犬や猫などの動物を家族の一員として飼養する人たちが増える一方で、飼養者の不適切な飼養管理、動物に対する知識不足等により、人への危害や近隣への生活環境被害等、動物の飼養をめぐる問題が発生している。

こうしたことから、動物に対する県民の正しい知識と理解を深めるために、普及啓発事業を推進するとともに、滋賀県から動物管理業務の委託を受け、同業務を円滑に実施することにより、人と動物のよりよい関係づくりに努める。

2 事業計画

(1) 動物保護管理業務の推進

滋賀県から次の動物管理業務を受託する。

- ア 犬に関する迷惑苦情の処理
- イ 野犬等の収容・回収、猫の回収
- ウ 犬、猫の適正飼養の指導
- エ 負傷した犬、猫の保護収容
- オ 特定動物の逸走時の捕獲等
- カ 飼養動物の飼養管理
- キ 動物愛護普及啓発事業

(2) 動物の愛護思想の普及啓発

- ア 動物愛護関連行事等の実施
 - (ア) 2019 しが動物フェスティバルの開催
 - (イ) 動物愛護のつどいの開催
 - (ウ) 啓発資材の作成、配布
- イ 情報発信事業
 - (ア) 定期刊行物の発行
 - (イ) 新しい飼い主探しの支援

収 支 予 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	8,000	9,000	△	1,000
特定資産利息	2,000	2,400	△	400
受取会費	400,000	400,000		—
事業収益	75,412,000	80,954,000	△	5,542,000
受取補助金等	100,000	100,000		—
受取寄付金	700,000	500,000		200,000
雑収益	11,000	11,000		—
経常収益計	76,633,000	81,976,400	△	5,343,400
(2) 経常費用				
事業費用	72,007,412	75,972,418	△	3,965,006
管理費用	2,907,085	2,295,747		611,338
経常費用計	74,914,497	78,268,165	△	3,353,668
(うち人件費)	66,535,000	72,517,000	△	5,982,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	1,718,503	3,708,235	△	1,989,732
評価損益等計	—	—		—
当期経常増減額	1,718,503	3,708,235	△	1,989,732
税引前当期一般正味財 産増減額	1,718,503	3,708,235	△	1,989,732
法人税、住民税及び事 業税	200,000	200,000		—
当期一般正味財産増減 額	1,518,503	3,508,235	△	1,989,732
一般正味財産期首残高	△ 8,310,872	△ 11,819,107		3,508,235
一般正味財産期末残高	△ 6,792,369	△ 8,310,872		1,518,503
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減 額	—	—		—
指定正味財産期首残高	16,000,000	16,000,000		—
指定正味財産期末残高	16,000,000	16,000,000		—
III 正味財産期末残高	9,207,631	7,689,128		1,518,503

平成30年度事業報告

一般財団法人 滋賀県動物保護管理協会

滋賀県、大津市の動物保護管理業務を受託し、野犬等の保護管理、動物の適正飼養指導を行うとともに、動物愛護思想の普及啓発に努めた。

1 動物保護管理業務受託事業

滋賀県および大津市との動物管理業務委託契約に基づき、保護管理業務を実施した。

(1) 犬の保護収容・回収等、苦情・依頼等に係る状況は次表のとおりである。

犬の保護収容・回収等頭数

区 分	頭 数
保 護 収 容	92頭
回 収 ・ 引 取 り (うち負傷犬)	169頭 (4頭)
計	261頭

犬の苦情・依頼等件数

区 分	件 数	
苦 情	放 し 飼 い	27件
	鳴 き 声 等	30件
	脱 糞	5件
	そ の 他	132件
	小 計	194件
依 頼	野 犬 捕 獲 等	80件
	引取り・放棄犬・不明犬	199件
	小 計	279件
計	473件	

(2) 猫の回収等に係る状況は次表のとおりである。

猫の回収等頭数

区 分	頭 数
回 収 ・ 引 取 り (うち負傷猫)	299頭 (39頭)

(3) 動物の正しい飼い方の普及啓発に係る事業は次表のとおりである。

事 業 名	開催回数・譲渡頭数	延べ参加者数
動 物 な か よ し 教 室	2回	58人
初 歩 の し つ け 方 教 室	33回	84人
犬 ・ 猫 の 譲 渡 前 講 習 会	86回	427人
地 域 に お け る 犬 の 適 正 飼 養 講 習 会	1回	8人
動 物 愛 護 デ ー	2回	6,100人
犬 の 譲 渡 事 業	62頭	—
猫 の 譲 渡 事 業	105頭	—

2 動物保護普及啓発事業

動物の習性や特性とともに、飼養者の責務である終生飼養について普及啓発事業を行った。

(1) 機関誌による愛護啓発活動

機関誌「わんにゃん広場」を発行し、動物の適正飼養の普及啓発に努めた。

(2) 「平成30年度動物愛護のつどい」の開催

命の尊さ、心の豊かさを目指して、動物飼養に対する義務と責任を考え、動物の正しい飼い方や動物についての理解を深め、動物愛護思想の高揚を図ることを目的として「平成30年度動物愛護のつどい」を開催した。

(入場者数 100人)

平成30年5月27日(日) 場所 滋賀県動物保護管理センター

ア 犬・猫のお里帰り交流会

犬・猫の譲渡後の交流の場を設けた。

イ 体験コーナー

迷子札の作成等の啓発と実技を実施した。

(3) 「2018 しが動物フェスティバル」の開催

9月20日から26日までの動物愛護週間の一環事業として、動物の適正な飼い方や動物に対する理解と関心を深め、動物愛護意識の高揚を図ることを目的として「2018 しが動物フェスティバル」を開催した。

(入場者数 6,000人)

平成30年9月23日(月) 場所 竜王町総合運動公園

ア 長寿犬飼養者の表彰

長年にわたり、愛情を持って適正な飼養管理を実践してきた長寿犬飼養者を表彰した。

表彰者 10人

イ 体験コーナー

犬、猫等小動物ふれあいコーナー、迷子札の作成等の啓発と実技を実施した。

ウ 相談コーナー

犬、猫の飼い方相談、開業獣医師による健康相談等を実施した。

(4) 新たな飼い主探しへの支援

飼い主が飼養できなくなった犬、猫に生存の機会を与えるため、インターネット等を活用し新しい飼養者探しを行った。

登録件数 犬 12件 内9件成立

猫 59件 内22件成立

(5) 動物慰霊祭の開催

やむを得ない理由により致死処分された動物の霊を慰めるため、動物慰霊祭を開催した。(出席者 35人)

平成31年3月20日(水) 場所 滋賀県動物保護管理センター

正味財産増減計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	30,601	9,160	21,441
特定資産利息	2,501	3,121	△ 620
受取会費	355,000	349,000	6,000
事業収益	81,204,000	69,653,349	11,550,651
受取補助金等	100,000	100,000	-
受取寄付金	1,384,340	875,765	508,575
雑収益	10,191	10,345	△ 154
経常収益計	83,086,633	71,000,740	12,085,893
(2) 経常費用			
事業費	75,095,366	67,559,877	7,535,489
管理費	2,282,053	2,162,404	119,649
経常費用計	77,377,419	69,722,281	7,655,138
(うち人件費)	72,198,824	60,708,613	11,490,211
評価損益等調整前当期経常増減額	5,709,214	1,278,459	4,430,755
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	5,709,214	1,278,459	4,430,755
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入益	-	1,638,109	△ 1,638,109
経常外収益計	-	1,638,109	△ 1,638,109
(2) 経常外費用			
経常外費用計	1	-	1
当期経常外増減額	△ 1	1,638,109	△ 1,638,110
税引前当期一般正味財産増減額	5,709,213	2,916,568	2,792,645
法人税、住民税及び事業税	189,694	195,630	△ 5,936
当期一般正味財産増減額	5,519,519	2,720,938	2,798,581
一般正味財産期首残高	△ 651,791	△ 3,372,729	2,720,938
一般正味財産期末残高	4,867,728	△ 651,791	5,519,519
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	16,000,000	16,000,000	-
指定正味財産期末残高	16,000,000	16,000,000	-
III 正味財産期末残高	20,867,728	15,348,209	5,519,519

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
普 通 預 金	23,222,770	12,241,517	10,981,253
未 収 金	64,490	54,709	9,781
流 動 資 産 合 計	23,287,260	12,296,226	10,991,034
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	16,000,000	16,000,000	—
基 本 財 産 合 計	16,000,000	16,000,000	—
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	12,487,530	12,487,530	—
特 定 資 産 合 計	12,487,530	12,487,530	—
(3) そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	1	2	△ 1
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1	2	△ 1
固 定 資 産 合 計	28,487,531	28,487,532	△ 1
資 産 合 計	51,774,791	40,783,758	10,991,033
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	14,205,237	4,273,769	9,931,468
預 り 金	878,287	1,022,992	△ 144,705
流 動 負 債 合 計	15,083,524	5,296,761	9,786,763
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	15,823,539	20,138,788	△ 4,315,249
固 定 負 債 合 計	15,823,539	20,138,788	△ 4,315,249
負 債 合 計	30,907,063	25,435,549	5,471,514
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	16,000,000	16,000,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	16,000,000	16,000,000	—
(うち基本財産への充当額)	(16,000,000)	(16,000,000)	(—)
2 一 般 正 味 財 産	4,867,728	△ 651,791	5,519,519
正 味 財 産 合 計	20,867,728	15,348,209	5,519,519
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	51,774,791	40,783,758	10,991,033